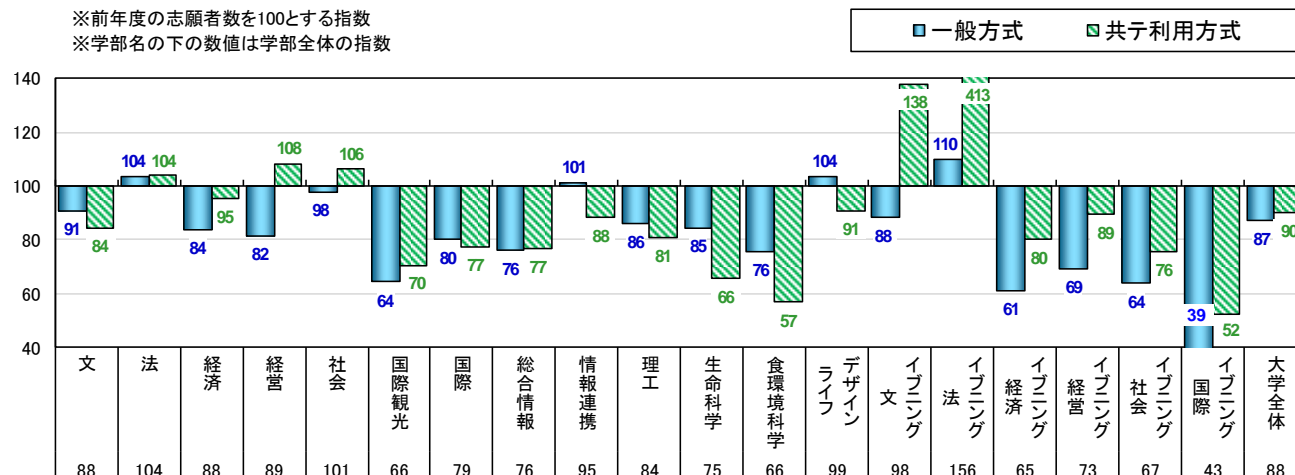


2021 年度入試状況分析【私立大】

東洋大：2年連続減少、志願者数は5年ぶりに10万人を下回る

一般：-8,320人 共テ：-3,648人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数



入試変更点

学科改組：社会(社会文化システム)→(国際社会)
 選抜方法：新規実施…文(東洋思想)〈一般・前期4教科〉
 (日本文学、史、教育、東洋思想)〈共テ・前期5教科〉
 (英米文、教育/初等)〈共テ・中期3教科〉
 経済(国際経済)〈共テ・前期4教科英語重視〉
 (総合政策)〈共テ・前期5科目〉
 経営(経営、マーケティング)〈一般・前期3教科数学重視〉
 (マーケティング)〈一般・後期2教科均等配点(英・数)〉
 (会計ファイナンス)〈一般・中期3教科最高点重視〉
 社会(社会、社会福祉)〈一般・中期3教科国語重視〉
 (社会心理)〈一般・中期3教科数学重視〉
 理工(機械工)〈共テ・前期3教科理科重視〉
 食環境科学(食環境科学)〈一般・前期3教科理科重視〉
 (健康栄養)〈共テ・前期4科目〉
 ライフデザイン(人間環境デザイン)〈一般・中期3教科〉
 廃止…経済(国際経済)〈セ・前期2教科外部試験利用〉
 (総合政策)〈セ・前期3教科ベスト2〉
 経営(マーケティング)〈一般・前期3教科国語重視〉
 (会計ファイナンス)〈一般・前期3教科地公重視〉〈一般・中期3教科ベスト2〉
 国際(国際地域)〈一般・中期3教科英語重視〉
 情報連携(情報連携)〈総合問題前期〉
 理工(機械工、生体医工)〈セ・前期3教科ベスト2〉
 生命科学(応用生物科学)〈一般・前期3教科ベスト2〉
 食環境科学(食環境科学)〈一般・前期3教科ベスト2〉
 ライフデザイン(人間環境デザイン)〈一般・中期3教科ベスト2〉
 入試科目：理工(建築)…〈一般・前期3教科〉数+外+(国 or 理)→数+理+外

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、11,968人(88)の減少で、前年度大幅減少に続いて2年連続減少し、前年度まで4年連続で10万人を上回っていた志願者数は、9万人を下回った。方式別では、一般方式(87)、共通テスト利用方式(90)のいずれも減少。イブニングコースを除いても、大学全体(89)、一般方式(90)、共通テスト利用方式(89)といずれも減少。第1部では、法(104)、社会(101)を除いた11学部が減少。

2021 年度入試状況分析【私立大】

＜一般方式＞

- 文(91)は、前年度の大幅減少の反動もなく2年連続減少。学科・専攻別では、(英米文)(110)が前年度大幅減少の反動で、8つの学科・専攻の中で唯一の増加。他の7学科・専攻は(哲)(100)の微減を含めて、いずれも2年連続減少。(東洋思想文化)(79)は、前期4教科入試を新規実施したが数学が必須だったので、志願者数はわずか4人だった。(教育/人間発達)(80)は大幅減少、(国際文化コミュニケーション)(81)、(教育/初等教育)(83)は2年連続大幅減少。
- 法(104)は、前年度やや減少の反動でやや増加。学科別では、(法律)(108)が前年度減少の反動で増加、(企業法)(95)は前年度やや増加の反動でやや減少。
- 経済(84)は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(経済)(103)が2年連続減少の反動でやや増加、(総合政策)(70)、(国際経済)(70)はいずれも前年度増加の反動で大幅減少。
- 経営(82)は、6年連続増加の反動で大幅減少。既存の募集単位のみでも(85)の大幅減少。学科別では、3学科全てが大幅減少。特に、(会計ファイナンス)(74)は前年度増加率が30%近い大幅増加の反動で大幅減少。
- 社会(98)は、2年連続前年度並。学科別では、(国際社会)は前年度の(社会文化システム)からの改組だが、前年度激増の反動で(71)の大幅減少。一方で、(社会福祉)(126)が前年度減少の反動で大幅増加。
- 国際観光(64)は、コロナ禍の影響による系統への人気低下の影響が大きく、大幅減少で2年連続減少。
- 国際(80)は、コロナ禍による系統への人気低下の影響が大きく、2年連続大幅減少。学科別では、2学科ともに大幅減少だが、(国際地域)(79)は2年連続大幅減少。
- 総合情報(76)は、3年連続増加の反動で大幅減少。
- 情報連携(101)は、前年度減少の反動は小さく、前年度並。
- 理工(86)は、6年連続増加の反動で減少。学科別では、6学科全てが減少。特に、(応用化学)(78)が3年連続増加の反動で大幅減少、(機械工)(85)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 生命科学(85)は、2年連続減少。学科別では、(応用生物科学)(80)が3年連続増加の反動で大幅減少、(生命科学)(89)は2年連続減少。
- ライフデザイン(104)は、前年度減少の反動でやや増加。学科・専攻別では、(人間環境デザイン)(97)が6年連続増加の反動でやや減少。新規実施・廃止方式を除いても(105)のやや増加。

＜共通テスト利用方式＞

- 文(84)は、大幅減少で3年連続減少。学科・専攻別では、(教育/初等教育)(101)、(日本文学文化)(101)が微増だが、他の6学科・専攻は減少。(国際文化コミュニケーション)(65)は2年連続大幅減少、(教育/人間発達)(71)、(哲)(73)も大幅減少。
- 法(104)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(企業法)(107)はやや増加、(法律)は前年度並。
- 経済(95)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(経済)(111)が唯一増加。一方で、(国際経済)(82)、(総合政策)(76)はいずれも3年連続大幅減少。
- 経営(108)は、前年度ほぼ半減の反動で増加。学科別でも、3学科全てが前年度ほぼ半減の反動で増加。
- 社会(106)は、2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(国際社会)は前年度の(社会文化システム)からの改組だが、前年度大幅増加の反動で(87)の減少。既存の4学科はいずれも増加で、((社会心理)(103)を除き、大幅増加。
- 国際観光(70)は、コロナ禍の影響による系統への人気低下の影響が大きく、大幅減少で2017年度の新設以降4年連続減少。
- 国際(77)は、コロナ禍の影響による系統への人気低下の影響が大きく、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(グローバル・イノベーション)(103)はがやや増加、(国際地域)(70)が3年連続となる大幅減少。
- 総合情報(77)は、大幅減少で3年連続減少。
- 情報連携(88)は、2年連続減少。
- 理工(81)は、2年連続大幅減少。学科別では、(電気電子情報工)(103)がやや増加だが、これ以外の5学科は全て大幅減少。特に(生体医工)(64)、(建築)(73)、(応用化)(77)が20%以上の減少率だった。
- 生命科学(66)は、2年連続大幅減少。学科別では、(生命科学)(63)が2年連続大幅減少、(応用生物科学)(69)は大幅減少で3年連続減少。
- 食環境科学(57)は、大幅減少で2年連続減少。学科・専攻別では、(食環境科学/スポーツ・食品機能)(35)が激減で2年連続減少、(健康栄養)(71)が2年連続大幅減少、(食環境科学/フードサイエンス)(57)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- ライフデザイン(91)は、2年連続減少。学科・専攻別では、全学科・専攻で前年度に引続き減少。